

【高校英文法】 関係詞（1）

● 関係詞（1）のポイント

- ▼ 1 関係詞の全体像
- ▼ 2 関係代名詞の用法
- ▼ 3 関係副詞の用法
- ▼ 4 制限用法 VS 非制限用法

▼ 1 関係詞の全体像

◆ 関係代名詞は _____ = (_____) を作る！

〈関係詞の全体像〉

◆ 関係代名詞と関係副詞の使い分け

- | | |
|-----------|--------|
| 1 関係代名詞 | + 不完全文 |
| 前置詞+関係代名詞 | + 完全文 |
| 2 関係副詞 | + 完全文 |

▼ 2 関係代名詞の用法

① 関係代名詞 + 不完全文

不完全のパターン

- | | |
|-------------------------|------------------------------|
| 1 Sが抜けるパターン=「主格の関係代名詞」 | 主語が欠ける = 主格
目的語が欠ける = 目的格 |
| ① ~ () V. | |
| ② ~ () s v V. ← | |
| 2 Oが抜けるパターン=「目的格の関係代名詞」 | |
| ① ~ () S V. | |
| ② ~ () ~ 前置詞. | |

Q. 次の文で何が欠けているのか考えてみよう！

1-① The other day, I met someone **who** came from my hometown.

「先日、ぼくは自分の出身地から来た人に出会った。」

1-② The man **who** I thought was honest deceived me.

「私が正直だと思った男性は私は騙した。」

2-① I'm reading a book **which** I borrowed from the library.

「私は図書館から借りてきた本を読んでいる。」

2-② The chair **which** he was sitting on was made of marble.

「彼が座っているイスは大理石で作られたものだった。」

☆仏心の関係代名詞の変換表

先行詞 \ 格	主格	目的格	所有格
人	who (that)	whom (that)	whose
物 (人以外、動物含む)	which (that)	which (that)	whose

② 関係代名詞の所有格

- 1 空所の後ろに「**無冠詞名詞**」がきたら所有格を入れてみる。
- 2 「先行詞 whose 名詞」では「**先行詞's 名詞**」という所有関係が成り立つ。

He has a friend **whose** teacher is a YouTuber. 「彼には、先生がユーチューバーの友達がいる。」
 A boy **whose** name I didn't know came up to me. 「名前を知らない男の子が私に近づいてきた。」

☆whose のとる2種類の形

- 1 ~ whose 名詞 V. ←主語が抜ける
- 2 ~ whose 名詞 S V . ←目的語が抜ける

▼ 3 関係副詞の用法

- ◆ 関係副詞 + 完全文
 (前置詞 + 関係代名詞 + 完全文)

完全のパターン

1 自動詞がくるパターン
① ~ () S V. (自動詞)
② ~ () S V C.
2 他動詞だが O がある or 受動態パターン
① ~ () S V O.
② ~ () S be + p.p.

関係副詞の変換表

先行詞	場所を表す語	時を表す語	reason (s)	なし
関係副詞	where	when	why	how (=the way ~)

a. There was a time **when[in which]** dinosaurs lived on the earth.

「恐竜が地球で暮らしていた時代があった。」

b. Chicago is a city **where[in which]** it is very cold in winter.

「シカゴは冬にとっても寒くなる街だ。」

c. There are several reasons **why** we should not agree to her request.

「我々が彼女の提案に賛同すべきでない理由がいくつかある。」

d. I know the place **where[in which]** the film was made.

「私はその映画が作られた場所を知っている。」

◆ まとめ

	関係代名詞	関係副詞	前置詞 + 関係代名詞
何節を作るか?	形容詞節 (文の形の形容詞)		
後ろにくる形は?	不完全	完全	完全

◆前置詞 + 関係代名詞の透視図

This is the company. + He works in it.

〈まとめ方は2通り!〉

① This is the company. He works in **which** → This is the company **which** he works in.

② This is the company. He works **in which** → This is the company **in which** he works.

▼ 4 制限用法 VS 非制限用法

制限用法 . . . 同種のものとの区別するために関係詞節で限定 (, なし)

非制限用法 . . . 他に同じものがない (限定する必要がない) ことを前提に先行詞を補足説明 (, あり)

He has a son **who** works at ABC company. 「彼には ABC 社で働いている息子がいる。」

He has a son, **who** works at ABC company.

〈図解〉

制限用法	非制限用法

◆非制限用法の例

【文の挿入】

This watch, **for which** I paid 8000 yen, is a fake. 「この時計、僕 8000 円払ったんだけど、偽物だった」

【文 (節) 全体を修飾】

I checked in early, **which** was great. 「私早くチェックインしたんだけど、それがとても良かった。」

◆非制限用法の使うときの注意点

1 関係代名詞 **that** にはこの用法はない = **that** は使えない。

2 関係詞を省略することはできない。

◆あえて非制限用法を用いるとき

1 前後に因果関係や逆説などの論理関係を持たせたい。

2 コンマ (,) のあとに書き手の判断や評価を表したい。

【高校英文法】 関係詞 (2)

● 関係詞 (2) のポイント

- ▼ 1 what を使った関係詞とその表現
- ▼ 2 複合関係詞を攻略せよ! (~ever)
- ▼ 3 擬似関係代名詞

▼ 1 what を使った関係詞とその表現

◆ what を使った関係詞の特徴

- 1 what + **不完全文**
- 2 what + 不完全 で**名詞節** (文の形の名詞) を作る!

What worries me is the result of the exam. 「私 (を心配にさせるのは→) が心配なのはテスト結果だ。」

This snack is just **what I wanted**. 「このお菓子はちょうど僕が欲しかったものだ!」

What you need is some rest. 「君が必要なのは休憩だよ。」

◆ what を使った慣用表現

① what is called / what we call = いわゆる、世間でいう ☆so-called と同じ!

This music is what is called "rap." 「この音楽はいわゆるラップだ。」

② what S is (today) = 現在の S / what S was[used to be] = かつての S / 昔の S

My parent made me **what I am**. 「両親が今の僕 (にさせた→) を育ててくれた。」

Satoshi is totally different from **what he was** ten years age. 「智は 10 年前の時と全く違う。」

③ what is 比較級 ☆長文などで何か要素を追加するときに使う!

I passed the exam, and **what was more**, I got money. 「試験に合格した上に、お金も手に入れた。」

what is more 「その上」 / **what is better[worse]** 「さらにいいことに (悪いことに)」など。

④ A is to B what C is to D = 「A と B との関係は C と D との関係と同じだ。」

Personality is to a man what perfume is to a flower. 「人間にとって個性とは花に対する香りのようだ。」

▼ 2 複合関係詞を攻略せよ！ (~ever)

◆特徴は2つ！

- 1 名詞節 or 副詞節をとる！（形容詞節はとらない）
- 2 訳し方は譲歩で！→「たとえ～でも、～」
- 3 「～ever」 = 「no matter ～」に分解可能（ただし「who (m) ever」 = 「anyone who」）

◆複合関係詞一覧

複合関係代名詞 = whoever / whomever / whichever / whatever

複合関係副詞 = whenever / wherever / however

Whoever wants to come is welcome.	「来たいひとは誰であっても歓迎します。」
Whoever calls, do not answer the phone.	「誰が電話をかけてきても、出てはいけませんよ。」
You can choose whichever you like.	「どちらか好きなものを選んでいいよ。」
Keep calm whatever happens.	「何が起ころうと、落ち着いていなさい。」
Wherever you go, you will find strange people.	「どこへ行っても、変な人に出会うよ。」

◆However の公式

- 1 However + 形容詞（副詞） + S V. = 「どんなに～であっても」

(no matter how)

- 2 However + S V. = 「どういう風に（どれだけ）～しても」

However tired I may be, I have to study English. 「どれだけ疲れてても英語は勉強しないとイケない。」
He never gives up however difficult the test is. 「どれだけテストが難しくても彼は絶対にあきらめない。」

However long it takes, I'll wait. 「どんなに時間がかかっても（長くて）、僕は待つよ。」
You can do however you like. 「どんな風にでも君の好きにしてくれたらいいよ。」

▼ 3 擬似関係代名詞

◆擬似関係代名詞

as : ① 先行詞に the same / such がつくときは関係代名詞の as を使う。

: ② 先行詞は「文（またはその一部）」

but : 先行詞は否定のついた語句。but の中に否定の意味が入る。

than : 先行詞に比較級がついたときは関係代名詞 than を使う。

「as is often the case with 人, SV」

= 「人によくあることだが、SV だ」